

ハートフル昭和

昭和学区自治会長会
昭和学区人権を考える会
昭和地区福祉推進協議会
昭和学区青少年問題協議会

令和3年3月 発行 第29号

がんばった運動会

令和2年度昭和小学校の運動会がコロナ感染症対応のもと、各種の対策や雨天順延の中で10月18日(日)開催されました。スローガンのとおり「コロナに負けるな!! 全員全力!! 全員協力!! 思い出に残る最高の運動会」となり、歴史に残る運動会になったようです。



全校競技 玉入れ



徒競走



移動もリズムカルに

昭和東地区八町の取組紹介

下柳町・菱屋町・下紺屋町・西町・寺町・鋳物師町・和久市町・昭和新町

昭和学区の東部地域にある8自治会は、「東八町自治会長会」を定期的に行き開催し、それぞれの自治会の課題を共有するとともに、防災拠点・地域福祉活動の拠点として集会所の整備と活用などを推進しています。

令和元年度は、年度末の令和2年3月に新型コロナウイルスの影響で会議開催を自粛する中でも計10回の東八町自治会長会を開催、本年度も新型コロナの影響が続いていますが、4月以降12月までに延べ5回東八町自治会長会を開催しています。

今回、東地区の自治会が連携して取り組んだこの2年間の主な行事等について紹介させていただきます。

1. 太さ40mmホース放水合同訓練の実施 令和元年9月1日(日)

前年の12月に鋳物師町から下柳町までの6町に40mmホースの格納庫が整備され、その使用方法について広く住民に周知する必要性がありました。東八町自治会長会で検討を重ねた結果、第1段階として、福知山市の一斉防災訓練に合わせ、由良川土手で実際の放水訓練を行うことにしました。地域の消防第三部の隊員の皆さんの協力を得て実施しましたが、地域の方の関心も高く約100名が参加し、女性を含む多くの方が実際に放水を体験されました。

さらに第2段階として、各自治会単位で40mmホースを消火栓に接続する訓練を実施することにしました。たった1回の訓練ではなかなか習得は難しいため、今後も継続的に実技訓練を行う予定です。



由良川堤防での放水訓練



放水合同訓練の参加者



西町自治会の消火栓接続訓練



西町自治会のホース延長訓練

2. 東八地区自治会役員合同研修会の開催 令和 2 年 2 月 15 日

◎研修テーマ 「水害予測時の避難行動推進と避難困難者支援の方策」

近年の異常気象による洪水被害に備えようと、東地区では初めてとなる自治会役員合同研修会（35名参加）を地域の自治会活動拠点である昭和東集会所を会場に開催しました。

最初に、福知山市危機管理室次長の森下 さん（現室長）から近年の降雨激甚化の実態についてデータをもとに詳しく説明していただき、これまでの経験が通用しない洪水発生危険性について教えていただきました。その上で、命を守るためには堤防整備などのハード面に頼るだけでなく、ハザードマップ等を活用し、避難時期の判断や避難方法、避難場所などについて前もって準備することが重要と話されました。

後半には、西町自治会から「自力避難困難者への支援活動」について報告がありました。どの地域でも高齢独居の方が増える中で、いざ洪水の危険が迫ったときに自力では避難できない方が多くおられます。西町自治会では、そういった方々を具体的に把握し、支援を希望された方には広域避難所への移送と現地でのお世話を自治会役員あげて取り組んでいます。



3. 特定定額給付申請サポートの取組 令和 2 年 5 月・6 月

新型コロナウイルス対策の一環として特別定額給付金（1人10万円）の申請書が各世帯に郵送されました。高齢者を狙った給付金詐欺が全国で頻発する中、申請に手助けが必要な方をサポートしようと東八町自治会長会で話し合い、東六町自治会合同相談会の他、和久市町、昭和新町のそれぞれ単独の相談会を計9回実施しました。5月30日（土）午前の東六町自治会第1回合同相談会には、約2時間で20名の相談者があり、自治会長による記入サポートや添付資料のコピーサービスを受けられました。コロナ感染対策として、マスク着用・手洗い消毒の徹底、ソーシャルディスタンスを考えた座席配置、玄関や窓を開け放った換気対策など、たいへん気をつかいましたが、相談者に喜ばれる良い取り組みができました。この取り組みでは、自治会長の他、各地域の民生児童委員の皆さんにもたいへんお世話になりました。また、この取り組みは6月2日発行の両丹日日新聞に掲載されました。



4. 西町・寺町合同避難支援 令和 2 年 8 月 20 日 両丹日日新聞掲載

出水期に入り洪水被害が懸念される中、寺町自治会と西町自治会合同の避難支援の取り組みが両丹日日新聞で紹介されました。

両丹日日新聞 2020年(令和2年)8月20日 木曜日

共同で避難困難者を支援
西町、寺町両自治会

水害など有事に活動
避難所に本部置き、情報共有

西町、寺町両自治会の合同、組合員、水害などが起きた際は共同で避難困難者の支援にあたるため、協議から話し合いを進める

町の老人会から自治会 密りらを通れていく支 対し、地区内に独自 高年齢者が増えてきた ため、そうした高齢者 を対象に災害時の避難 支援を考えてほしいと 要望があった。

自治会役員会で協議 した結果、同居する未 成年者、車で行く途中に 発生した水害による避難 困難者への支援活動が 無用となつてはならない 2月に開かれた両町 区に身を任せ避難所を 整え、避難困難者の増 出しもしたと、荒天だ った7月から9月 にかけて計9回、お年 支援助成活動に関する発表 がある。寺町は、西町 支援活動に関する発表 があった。協力の要 請を打診した。 西町自治会、西町 自治会は、西町自治会 会館に由良川堤防に近 づくにつれて、堤防が決壊 するおそれがある。 出ることから、支援者 のマンパワーや車の難 関、情報共有のために 西町自治会、西町自治会 支援活動に関する人 員は現在、西町が20人、 寺町は19人、車は西町 避難困難者の世話を

がら、寺町は、西町 支援活動に関する発表 があった。協力の要 請を打診した。 西町自治会、西町 自治会は、西町自治会 会館に由良川堤防に近 づくにつれて、堤防が決壊 するおそれがある。 出ることから、支援者 のマンパワーや車の難 関、情報共有のために 西町自治会、西町自治会 支援活動に関する人 員は現在、西町が20人、 寺町は19人、車は西町 避難困難者の世話を

南陵中学校運動会

令和2年9月6日（日）南陵中学校の体育祭がコロナ感染症対応の中で実施されました。強い風の中で500名を超える生徒により大縄跳びやリレー競技などが力強く行われました。



NPO法人昭和ボランティアクラブが変わります

平成17年5月に16名で創設された昭和ボランティアクラブ、平成18年6月に法人となり会員も57名で活動を開始された。黄色のジャンパー姿で、昭和小学校下校時見守り、環境清掃美化活動、植樹など積極的な活動をされ、会員の親睦活動を通じて組織の充実をはかれてきました。その中で弘法川清掃から発展したホタルの育成、「ほたるが輝き舞う弘法川へ」のスローガンでカワニナの放流、ホタル祭り、昭和小学校ビオトープ池修理へとつながって来ましたが、令和2年度ボランティア功労知事表彰を受けて同年12月に解散されました。

しかし、昭和小学校下校時見守り、美化活動の継承が必要と任意団体「昭和ボランティア！」（代表 関 秀法）17名が立ち上がって活動されています。また、現在会員の募集をされています。

